

# お茶の時間



あけましておめでとうございます。

1997年1月創刊のミニコミ新聞「お茶の時間」は

20年になります。

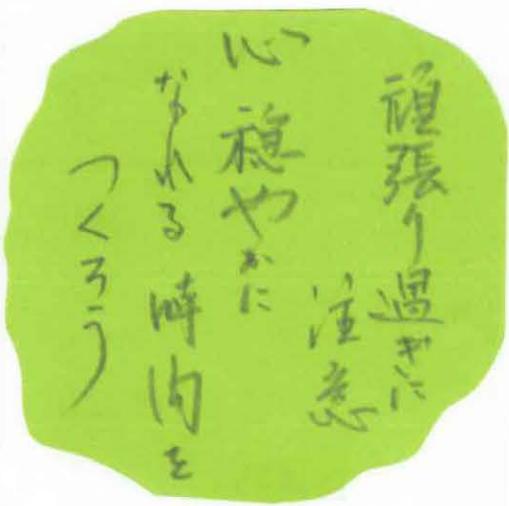
毎月発行の予定が、暑いの、疲れたの、忙いの、入院したの等々で、年月は流れてもまた127号です。それでもお付き合い下さる読者が多い限り続けようと思います。「継続は力なり」今年もよろしく

第127号

料理研究家門倉タニアさんの言葉  
全体のバランスをとるがう料理に貴  
やすエネルギーを考えると幸せな  
感情は生まれやすいと。

どんな場合にも当てはまる。  
ドイツ人の母と、日本人の父を持つ  
バランスをとる匙の減らむずかしい

口も「命の入口」と密接につな  
げています。その大事さを広く知つてもうす  
と、口の体操「あいうべ」を使って、さまざまな病気の治療をすすめていますと書かれていた。



祖張り過ぎて注目

心穏やかに  
がれる瞬間を  
つくろう

手軽な健康法・口の体操「あいうべ」を知っていますか。  
九州で開業されている、内科医・今井一彰さん  
さんが新聞に掲載した「口も「命の入口」に  
するには」の画面切抜きを、束ねた古い資料  
からみつけた。

か

## あいうべ 体操

舌を伸ばすと舌が正常に位置  
に戻り、口は閉じて自然と鼻呼吸になります。  
簡単で大切な内容を、小さなお子様にも分かりやすく伝えたい。と歯科医師と共にセミナーを開催させている。

体操は単純、簡単だから、変な顔になる  
ので、私はもうまく湯舟につかり実践して  
いますよ。

張り切り過ぎるとアゴが痛くなるので、  
楽しく続けることが大切だ。

早速試すと割合に気持ちいい。  
舌を伸ばすとこの反動で舌が正常な位置  
に戻り、口は閉じて自然と鼻呼吸になります。  
簡単で大切な内容を、小さなお子様にも分かりやすく伝えたい。と歯科医師と共にセミナーを開催させている。

舌を伸ばすと舌が正常に位置  
に戻り、口は閉じて自然と鼻呼吸になります。  
簡単で大切な内容を、小さなお子様にも分かりやすく伝えたい。と歯科医師と共にセミナーを開催させている。

虫歯や歯周病は万病の元となり、呼吸の仕方や、かみ方は全身の働きと密接につながっています。この大事さを広く知つてもうすと、口の体操「あいうべ」を使って、さまざまな病気の治療をすすめていますと書かれていた。

虫歯や歯周病は万病の元となり、呼吸の仕方や、かみ方は全身の働きと密接につながっています。この大事さを広く知つてもうすと、口の体操「あいうべ」を使って、さまざまな病気の治療をすすめていますと書かれていた。

虫歯や歯周病は万病の元となり、呼吸の仕方や、かみ方は全身の働きと密接につながっています。この大事さを広く知つてもうすと、口の体操「あいうべ」を使って、さまざまな病気の治療をすすめていますと書かれていた。

## 歯のよもやま話 第二十一話 歯と人生儀礼・行事

人の一生のうちの歯に関する儀礼や習俗について触れてみます。これらの風習は、最近はほとんど行われなくなりました。また地方によつても、行つたり行わなかつたり、行つたとしてもいろいろと内容は異なります。

### 食い初め

生後百日頃、子どもの前に赤飯や尾頭付きの焼き魚等の食膳を据え歯が硬く丈夫になるように願いました。地方によつては豆、エビ、梅干しなども添えました。

### 歯固め



歯固めとして小石を噛ませることもありました。歯固めの石は神社から貰つたり海岸で拾つたものを使用しましたが、終わつたあと神社に返す風習の所もありました。

### 歯固め

正月と六月一日に歯固めを行い、芋の茎、荒布(あらめ)、鏡餅、固い飴などを噛みました。これは歯の根を固くし長寿を願つたものです。土佐日記、枕草子、源氏物語にも記述があり平安時代からの風習です。正月に雑煮にお餅を入れて食べるのではという説もあります。六月一日には干しておいた正月の餅を「歯固めの餅」として食べた地方も多いようです。

### 尚歯会(しようしかい)

尚歯とは齧(よわい)を尊ぶことで、老人を尊敬する事。尚歯会とは敬老会であつたり、老人が集まつて互いの長寿を祝う会の事。唐の白楽天が自分を含め七人の老人を招き詩を詠じ、宴を催したのが始まりとされています。幕末に渡辺華山や高野長英が尚歯会と称し新知識交換の結社を作つた事は有名です。また明治初期に勝海舟が大月盤溪などを招いて尚歯会を開いたそうです。

抜けた乳歯は、下の歯は縁の下や流しの下、雨垂れ等に、台所や便所の屋根などが多いようです。投げるときに呪文を唱えることも有り、「鬼の歯が生えるな、ネズミの歯とかわれ」などといった地方もあるそうです。鬼の歯は形の変な歯、ネズミの歯は丈夫のようですね。

アメリカやイギリスでは夜眠る時、枕の下に抜けた歯を入れておくと、「歯の妖精」がやってきて、抜けた歯をコインと交換してくれるという言い伝えがあります。

南米では、抜けた歯をイヤリングにして身につけるところもあるそうです。

お歯黒の項で触れたので略記します。江戸時代には女の人はお歯黒を付けるのが普通でした。初めて付ける時は女性の成人式にあたることから、親戚知人の有力者の女性を鉄漿親(かねおや)とし、初鉄漿の式を行い、鉄漿親はその子を一生世話をしたそうです。

子田晃一

